

牧師 山本護 司式 福田奈里子 奏楽 花曲琴音

前奏	黙想	祈禱	
讃美歌	9 ちからの主を	讃美歌	354 かいぬしわが主よ
祈禱		献金	
信仰告白	使徒信条 566	讃詠	547 いまささぐるそなえものを
聖書	歴代誌上 28:9 ヨハネの手紙一 4:12~13	黙禱	
讃美歌	187 主よ、いのちの	主の祈り	564
説教	『神の愛を互いに分かち合う』	頌栄	541 父、み子、みたまの
		祝禱	後奏

先週は聖霊降臨祭だった。私たち一人ひとりに降り(使徒 2:3)、一人ひとりに深層から語らせ(2:4)、心の深層たる言葉(母語)としてこの耳に響かせてくれる聖霊(2:8)。聖霊はそれから、どう働かれたか。

「神はわたしたちに、御自分の霊を分け与えてくださった。このことから、わたしたちが神の内にとどまり、神もわたしたちの内にとどまってくださることが分る(Iヨネ 4:13)」。聖霊が分かち与えられたことで「それが分かる」。聖霊はその徴だ。私たちがいかなる罪人であろうとも、神は無条件で迎え入れて下さっている。聖霊の授与がその証拠であり、聖霊は私たちにその真実を教えてくれる。

「わたしたちが互いに愛し合うなら、神がわたしたちの内にとどまってくださる(4:12)」。この御言葉は誤読しやすい。「~ならば然り」という条件を付けているわけではない。なぜなら、人間のいわば「能力」を用いて愛し合うわけではないからだ。「神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになった(4:10)」その愛によって、私たちは互いに愛し合う者になる。「愛する者は皆、神から生まれ(4:7)神の子とされる。そして聖霊によって愛の結びつきを知る(4:13)」。

「わたしたちが神の内にとどまり、神もわたしたちの内にとどまってくださる(4:13)」。ふり返ってみれば、神とかキリストとかを知るずっと以前から、神は私に留まってくれていた。命令する方としてではなく、無口な父として見守り、冒険し合う友として共にいてくれた。小学校低学年の頃、川に架かる横浜線の鉄橋を歩いて渡ろうと決意した時、「おいおい行くのかね、じゃワシも」とつきあってくれた。交通事故に遭った時は一緒に大傷を負った。こうした諸々を自覚するのは、長じてからイエスに出会い、キリスト者となり、聖霊によって自分の言葉を得、自分の耳で聞くようになってから。

甲府刑務所で現在、少年院から数えて入所数回目という複数の受刑者と個別教誨している。過酷な子供時代、そこに神はいなかったのか、と自問し悩んだ。しかし私の想像力など及ばない所にも神が共におられたことを、彼らの鮮烈な経験から教えられている。ダルクのNAミーティングも然り。

「主はすべての心を探り、すべての考えの奥底まで見抜かれるからである。もし主を求めるなら、主はあなたに御自分を現してくださる。もし主を捨てるならば、主はあなたをとこしえに拒み続けられる(歴代上 28:9)。「とこしえに」ということは、背く者は死んでもなお拒み続けられるのか。一旦背いたらもう絶望なのか。いや、そうではない。なぜなら、個々の魂の「奥底まで見抜かれる」方だから、背いたり従ったりする契機を当人よりも深く知っておられる。だから一人ひとりの決断を辛抱強く待っておられるのだ。聖霊は、そんな魂の奥底に言葉を与え、自らの耳で聞かせ、御心を現す(28:9)。

冒頭から私たちは、「愛する者たち(4:1,7,11)」とくり返し呼びかけられ、「互いに愛し合う(4:7,11,12)」者として見られている。ウマが合わない、価値観が違う、ムシが好かない者を愛することはできない、と言うだろうか。そりゃそうだ。私たちに愛する「能力」が求められているわけではない。「わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛した(4:10)」。御子を遣わして十字架にかけるほどに私たちは愛されている。注がれているその神の愛を、互いに分かち合うこと。決して不可能ではない。

互いに愛する ことなんて出来ない そんなことは分っている たが注がれているキリストの愛をあなたの狭量で値引きしないでほしい あなたの扉は内側ではなく 外側へ開くようになっている

6/18(土)1:30~3:30 メディカル・カフェ開催。牧師の動き:本日午後判事者9条の会総会(南甲府教会)。6/14 東京矯正管区教誨師山梨大会。6/17 山梨ダルク運営委員会。6/20 刑務所で教誨。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。